

吉野川市

議会だより

改選後初議会を
開催しました



吉野川市公式キャラクター
ヨッピー・ピッピー



議会HPは
こちらから確認!

令和7年6月議会定例会

議員紹介	2
議長・副議長就任あいさつ	3
本会議討論	8
代表質問	10
一般質問	14
政務活動費収支報告	17
会派行政視察報告	18

吉野川市議会議員

18人が 決まる

◎代表 ○副代表 ☆経理責任者



吉野川政友会いろは



☆戸出 敏夫
鴨島町西麻植

吉野川政友会いろは



○福岡 正
川島町学

吉野川政友会いろは



◎原田 由一
美郷字川俣

吉野川政友会いろは



中西 渉
鴨島町知恵島

吉野川政友会いろは



阿佐 勝彦
山川町諏訪

薫風会



岸田 益雄
鴨島町鴨島

薫風会



枝澤 幹太
川島町学

薫風会



○☆塩田 智子
山川町川田

薫風会



◎細井 英輔
鴨島町牛島

真誠会



栞原 五男
鴨島町知恵島

真誠会



☆谷田 憲二
山川町川東

真誠会



○菊川 充憲
鴨島町鴨島

真誠会



◎田村 修司
川島町栞村

立憲民主党



山側 紗矢香
鴨島町西麻植

日本共産党



岡田 光男
鴨島町森藤

公明党



相原 一永
川島町栞村

ほうらん
芳藍麻植会



○☆藤原 一正
山川町川田

ほうらん
芳藍麻植会



◎近久 寛
鴨島町上浦

任期：令和7年5月29日～令和11年5月28日
令和7年5月18日に吉野川市議会議員一般選挙が行われました。令和11年5月28日までの4年間、新たに18人で吉野川市議会がスタートしました。

議長あいさつ



議長
岸田 益雄

市民の皆様には、平素より市政ならびに市議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

この度、改選後の6月議会

定例会におきまして、議員の皆様からのご推挙を賜り、議長の重責を担わせていただくこととなりました。

市民の皆様にご信頼される議会・開かれた議会づくりに努めるとともに「元気で明るい吉野川市」を目指し誠心誠意努力いたします。

昨年、市制20周年を迎え、記念事業として制作された映画「道草キッチン」が全国公開に先駆け、今秋に徳島で先行上映される予定であり、また、高越山で初の試みで

ある自転車ヒルクライムレーヌ「Mt. 高越ヒルクライム」が開催されるなど、文化やスポーツを通じて、新たな市の歴史を紡ぎながら前に進んで行くこととしております。

市議会も行政と歩調を合わせ、市民の皆様が安心して暮らせる魅力あるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

今後とも市議会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

副議長あいさつ



副議長
菊川 充憲

この度、市議会副議長を拝命いたしました。市民の皆様のご信頼に深く感謝申し

上げます。

少子高齢化が進むなか、持続可能で安心して暮らせる地域社会の実現は喫緊の課題であります。若者の定住・移住を促す企業誘致や地域農業への支援、子育て支援や高齢者福祉、医療体制の充実など、世代を越えた課題解決に取り組んでまいります。

皆様の声を市政に反映し、誰もが希望を持てる未来を

築いてまいります。

今後も、議会と行政の連携をさらに深めながら、現場の声を大切にし、より実効性ある政策の実現に努めてまいります。

皆様とともに、笑顔あふれる地域づくりを目指してまいりますので、引き続き、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

議会選出組合議員

徳島中央広域連合
議会

岸田 益雄
菊川 充憲
中西 渉
中井 英輔

阿北火葬場管理
組合議会

岸田 益雄
戸出 敏夫
枝澤 幹太
菊川 充憲
相原 永

阿北特別養護老人
ホーム組合議会

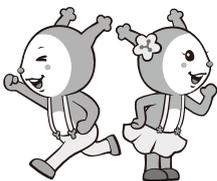
岸田 益雄
谷田 憲二
福岡 正
阿佐 勝彦
山側 紗矢香
田村 修司
藤原 一正

中央広域環境施設
組合議会

岸田 益雄
原田 由一
塩田 智子
栗原 五男
谷田 憲二
岡田 光寛
近久 寛

議会選出監査委員

枝澤 幹太



新しい委員会構成が決まりました

◎…委員長
○…副委員長

常任委員会

市の事務を3つの委員会に分け、その調査・議案・請願などについて審査を行います。

総務常任委員会

市の総合戦略・財政戦略・統計・防災・防犯・交通安全・財産・契約・市税・住民情報管理・消費生活・環境衛生などのほか、他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。

◎岡田光男 ○阿佐勝彦 中西 渉 岸田益雄 塩田智子 田村修司

文教厚生常任委員会

保健衛生・福祉・介護保険・学校教育・学校施設の管理・社会教育・文化財・生涯学習・公民館の管理・スポーツ推進・スポーツ施設の管理・図書館などを審査します。

◎谷田憲二 ○山側紗矢香 枝澤幹太 福岡 正 菊川充憲 近久 寛

産業建設常任委員会

農業・林業・地籍調査・商工業・観光・道路や河川の管理・都市計画・市営住宅・建築・水道・下水道などを審査します。

◎戸出敏夫 ○栗原五男 原田由一 細井英輔 藤原一正 相原一永

議会運営委員会

スムーズな議会の運営を行うため、定例会の日程や議会のルールなどを決めます。議会の運営、会議規則、委員会条例、議長の諮問に関する事項などを話し合います。

◎細井英輔 ○田村修司 戸出敏夫 原田由一 谷田憲二 岡田光男

特別委員会

特に必要があるときは、議会の議決で特別委員会をおくことができます。

議会広報特別委員会

年4回議会だよりの編集と発行を行います。

◎中西 渉 ○近久 寛 戸出敏夫 枝澤幹太 菊川充憲 岡田光男



令和7年6月議会定例会

議案の審議結果

付託先の略称

- 即 決…本会議で審議
- 総 務…総務常任委員会で審議
- 文教厚生…文教厚生常任委員会で審議
- 産業建設…産業建設常任委員会で審議



	付託先	議 案 名	結 果
選挙	—	議長選挙について	投票
	—	副議長選挙について	投票
	—	徳島中央広域連合議会の議員選出について	指名推選
	—	阿北火葬場管理組合議会の議員選出について	指名推選
	—	阿北特別養護老人ホーム組合議会の議員選出について	指名推選
	—	中央広域環境施設組合議会の議員選出について	指名推選
報告	即決	令和6年度吉野川市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
	即決	令和6年度吉野川市水道事業会計予算繰越計算書について	報告
	即決	令和6年度吉野川市下水道事業会計予算繰越計算書について	報告
専決	総務	専決処分の承認を求めることについて（吉野川市税条例の一部を改正する条例）	承認
	総務	専決処分の承認を求めることについて（吉野川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
	総務	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度吉野川市一般会計補正予算（第9号））	承認
	即決	専決処分の報告について（徳島県市町村総合事務組合規約の変更について）	報告
	即決	専決処分の報告について（吉野川市庁舎屋上防水・外壁改修等工事の変更請負契約の締結について）	報告
条例	総務	吉野川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	総務	吉野川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市重度心身障がい者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	産業建設	吉野川市下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
予算	産業建設	吉野川市水道事業及び下水道事業の職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	総・文・産	令和7年度吉野川市一般会計補正予算（第1号）について	原案可決
	産業建設	令和7年度吉野川市水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決
	産業建設	令和7年度吉野川市下水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決
その他	総務	吉野川市新ごみ処理施設整備・運営事業建設工事の変更請負契約の締結について	原案可決
	即決	財産の取得について（小・中学校学習者用コンピュータ機器）	原案可決
	総務	財産の取得について（災害用備品）	原案可決
	総務	財産の取得について（災害用備品）	原案可決
	総務	中央広域環境施設組合からの吉野川市の脱退に伴う財産処分について	原案可決
意見書	即決	選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書	原案可決

委員会審査



6月25日から6月27日までの期間、3つの常任委員会において付託された議案の審査を行いました。主な審査内容を抜粋して掲載しています。審議結果の一覧は5ページをご確認ください。

総務常任委員会

◇市長提出議案10件を審査

●令和7年度吉野川市一般会計補正予算(第1号)について

問 物価高騰対応重点支援事業の市民への不足額給付について、どのようなシステムで対応するのか。

答 国から提供される算定ツールにより抽出し、該当者には案内通知をする予定としている。抽出にあたっては、住民税の課税情報と算定ツールの連携により行う。

新しく構築する税システムについても、正確な管理・運用に努め、予定どおり給付を完了できるように効率的に事務を進める。

問 映画の「道草キッチン」のPR事業の概要は。

答 高松で開催される瀬戸内国際芸術祭のイベントへの参加や、「一夜限りの鴨島阿波踊り大会」に市役所職員役で出演された俳優が市役所連とともに参加し、記念うちわを配布するなど映画公開に向けて機運を高めている。

また、11月7日から県内2カ所での映画公開が計画されている。

とから、監督、出演者による舞台挨拶、鴨島駅前のイベントやロケ地を巡るデジタルスタンプラリーを開催する。

ほかに、ロケ地マップの作成や県人会へのPRなども行い、今後、この映画が本市の地域資源の魅力を発信する重要なツールとして、地域のにぎわい創出が図れるよう鋭意取り組んでいく。



映画「道草キッチン」2025年秋公開予定

問 地域おこし協力隊活動支援補助金の100万円は、何に必要な経費なのか。

答 起業に必要な経費であり、今回の補助金の内訳は主に、備品購入費とソフトウェア使用料である。

●財産の取得について(災害用備品)

問 取得する災害用備品はどこにどのように配備するのか。

答 基本的には開設される避難所等に必要物資を分散して備蓄することとしているが、現在、旧町村ごとに拠点となる備蓄保管場所を検討しており、そこから速やかに配送できるように体制を整備する。

問 簡易ベットを購入して活用して体験する機会や防災活動推進について活動する計画はあるのか。

答 具体的には決めていないが、現在は自主防災組織等での訓練時に展示したり、体験していただいている。

文教厚生常任委員会

◇市長提出議案2件を審査

●吉野川市重度心身障がい者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 本市にひとり親家庭はどの程度いるのか。また、増加傾向か、減少傾向か。

答 4月1日現在、総世帯数17921世帯のうち、母子世帯645世帯、父子世帯90世帯で計735世帯であり、全世帯数に占める割合は約4%である。

直近3年間の比較では、世帯数も全体的な割合もほぼ横ばいである。

●令和7年度吉野川市一般会計補正予算(第1号)について

問 ひとり親家庭医療費助成について、10月の助成拡充

までの間、対象者は申請が必要なのか。また受給者証の郵送等、助成拡充までのスケジュールは。

答 7月から8月にかけての児童扶養手当の現況届の際に、助成事業について丁寧に説明するとともに申請書にも署名をいただく。

また、新しい受給者証は9月中旬頃に郵送できるよう考えている。

問 親子関係形成支援事業は、こども家庭センターで支援を受けていない方もBPPプログラムに参加できるのか。

答 産後うつなどの症状がある方や支援が必要と認められる方をはじめ、その他にも子どもとの関わり方や子育てに不安を抱える方であれば、どなたでも

申し込みできる。

問 親子関係形成支援事業での参加者の負担額は。

答 本市が予定しているBPPプログラムは、参加費無料で実施する。

問 小中学校の体育館の空調整備事業を、本市でも進めるとのことであるが、空調設備の熱源の種類は。

答 置換空調方式などの効率的な技術の採用を含めて検討していく。

問 一定の温度を超えたら屋外での体育の授業は控えて、体育館で行うべきだと思いが、空調の使用基準を定めているのか。

答 各学校に空調の運用基準を周知し、原則設定温度を27度としているが、熱中症の危険性がある場合は、各学校で判断し、安全かつ適切に使用できるようにしている。

問 国の交付金を活用し、中学校体育館に空調が整備されていくということだが、市内全体として整備計画は立っているのか。

答 国の交付金は、令和15年度までの時限的なもので、補助率2分の1の大変有利な交付

金である。

令和15年度までには、全ての小中学校において整備が完了できるよう進めていきたい。

産業建設常任委員会

◇市長提出議案5件を審査

●吉野川市下水道条例の一部を改正する条例制定について

問 使用料改定は本年10月使用分から適用するとのことだが、市民の方にはどのように周知を図っていくのか。

答 対象世帯へ、使用料改定のお知らせ文書を配布し、広報誌やホームページを活用するなど、迅速かつわかりやすい周知を図っていく。

問 使用料改定を行うと、一般会計からの補填額がどのくらい減るのか。

答 令和4年度の公共下水道使用料実績をもとにした試算では、年間約7600万円が見込まれる。

●吉野川市水道事業及び下水道事業の職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 具体的にどのようなものか。

答 部分休業の形態が「1日につき2時間を超えない範囲」に加え、「1年につき条例で定める時間(10日程度)を超えない範囲内」での形態を設け、いずれかを選択可能とする。

●令和7年度吉野川市一般会計補正予算(第1号)について

問 つつじ公園に新たに簡易水洗トイレを整備するとのことだが、どこに設置するのか。

答 展望台とつつじ山荘の間の空きスペースに設置する予定である。

●令和7年度吉野川市下水道事業会計補正予算(第1号)について

問 老朽化した既設管の点検を行うという点でよいのか。

答 他市で老朽化が原因で道路の陥没事故が起きており、本市も対象となる施設を調査、点検を行う。

議員提出議案

●選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書

提出議員 岡田 光男
異議なしで原案可決

※BPプログラム：はじめての赤ちゃんを育てている母親と0歳児の赤ちゃんが一緒に参加する、親子の絆づくりを目的としたプログラム

議第28号
吉野川市下水道条例の一部を改正
する条例制定について

反対討論

岡田 光男

物価高騰で市民の暮らしが厳しい中、さらなる負担を強いる使用料の値上げは避けるべきだと思う。

下水道事業は、公共水域の保全に資することを目的としているため、経営の悪化を下水道利用者の方に押しつけようとする考えは、少し乱暴ではないか。

多くの市民が恩恵を受ける、処理施設などの維持管理費は、一般会計からの基準外繰り入れで賄うのが妥当だと思う。

誰もが衛生的な水環境の中で暮らしている。この状況に重きを置いた、事業経営をすべきではないのか。

賛成討論

戸出 敏夫

地方公営企業である下水道事業は、「独立採算」が原則であるが、本市では公共下水道をはじめとする3つの事業で汚水処理費を使用料で賄っておらず、毎年多額の一般会計からの繰入金で赤字補填を余儀なくされている。

鴨島町の公共下水道は、特に一般会計からの繰入金への依存度が高く、使用料も他の2つの事業と比べて安価である。

本改定は、長年見直しが行われてこなかった、公共下水道の使用料を見直し、適正化するものであり、世代間の公平性を保つうえでも重要な取り組みである。

議第30号
令和7年度吉野川市一般会計補正
予算(第1号)について

反対討論

岡田 光男

令和7年度吉野川市一般会計補正予算の中に、鴨島第一中学校改修事業が予算化されており、この中には令和9年の統合に向け、不足する空き教室の整備を行う設計委託料などが含まれている。

鴨島第一中学校の空き教室の整備は、中学校の統合のためのことで、「鴨島東中学校を存続させる会」が集めた952名の方の思いを逆なでするもので、到底認めるわけにはいかない。

先生方の教育の力を信じ、少人数であってもキラリと輝く、魅力のある学校づくりに力を注ぐべきではないか。

賛成討論

谷田 憲二

本予算に設計費が計上されている鴨島第一中学校の教室改修事業は、令和9年4月の統合に向けて、必要な教室数を確保するため、空き教室の空調整備などを行うとともに、生徒の教育環境の向上を図るものである。教育環境を整えることで、生徒の学習意欲の向上や成長につながるだけでなく、快適な学習環境は、心身の健康にもよい影響を与えるものである。

新しく充実した教室へ改修を行い、生徒の皆さんが新鮮な気持ちで新しい学校生活のスタートが切れるよう、その後押しをするべきではないか。

※賛成「○」、反対「×」、退席「-」、欠席「欠」で表示。

採決	議案名	戸出	中西	岸田	枝澤	福岡	原田	塩田	細井	阿佐	山側	栗原	谷田	菊川	田村	岡田	近久	藤原	相原	採決結果
		敏夫	涉	益雄	幹太	正	由一	智子	英輔	勝彦	紗矢香	五男	憲二	充憲	修司	光男	寛	一正	一永	
	議第28号 吉野川市下水道条例の一部を改正する条例制定について	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	欠	○	可決
	議第30号 令和7年度吉野川市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	×	○	欠	○	可決

「こころ」が聞きたい

代表・一般質問

誌面の都合により要旨のみを掲載しています。
詳しくは、市議会ホームページの会議録をご覧ください。
二次元コードを読み込むと会議録が確認できます。



6月議会定例会では10名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

中西 渉 (吉野川政友会いろは)

- 総合戦略の取り組みについて
- 企業誘致について
- 新ごみ処理施設の稼働を見据えたごみ減量と資源化の取り組みについて
- 市制20周年記念事業について
- ランドセルの自由化について
- 自然と文化と伝統を活かしたラーケーションの導入について

細井 英輔 (薫風会)

- 財政状況について
- 防災対策について
- 親子関係形成支援事業について
- 鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合について
- 社会資本整備総合交付金の補正について

谷田 憲一 (真誠会)

- 市長のマニフェストについて
- 過疎地域の活性化について
- 吉野川市子ども・子育て会議について
- Mt.高越ヒルクライムレースについて
- 市消防団について

一般質問

藤原 一正 (芳藍麻植会)

- 日本遺産「藍のふるさと阿波」の地域活性化策について

戸出 敏夫

- 命を守る防災・耐震化について
- 小・中学校の修学旅行費について
- いじめ対策について
- 児童虐待について
- 高齢者や障がい者に対する人権侵害について

阿佐 勝彦

- 病児・病後児保育広域利用助成事業について
- 地下浸透方式による市道の路面排水について
- 山間部における災害時の迂回路について
- バンブーパークの利用について

栗原 五男

- 財政状況について
- 中学校統合について
- 地域おこし協力隊について
- ふるさと納税について
- 中心市街地活性化について
- 自治会加入促進について
- 吉野川市コワーキングシェアオフィス KiirDaの運営について
- 新ごみ処理施設について
- 鴨島公民館の指定管理について

岡田 光男

- 平和行政について
- 鳥獣被害対策について
- 公共下水道について
- 基幹相談支援事業について
- 鴨島東中学校と鴨島第一中学校との統合問題について

相原 一永

- 災害対策について
- 睡眠教育について

近久 寛

- 外国人の移住について



吉野川政友会いるは
中西 涉
なかにし わたる

問

新ごみ処理施設の稼働を機に、ごみ減量の必要性を市民にどのように伝えていくのか

答

市ホームページ内に専用サイトを立ち上げ、ごみ減量化についての情報を発信する

問

本年11月に予定されている新ごみ処理施設の稼働は、本市のごみ処理体制を見直す大きな転換点であり、持続可能なまちづくりに向けた重要な事業である。

これまで自治会やボランティア、小学校での廃品回収など、市民と行政が協力し、地域資源循環の文化を築いてきた。

この新施設の稼働を機に、ごみ減量の必要性をどのように市民に伝えていくのか。また、新施設における資源化物の分別・再資源化の取り組み方針をどのように考えているのか。

答

昨年度実績として、燃やせるごみの量が前年度比で年間約430トン減少させることができ、ペットボトル、缶、紙類などの資源ごみの売却収入は約3900万円であり、貴重な財源となっている。

令和5年度から実施しているペットボトルキャップ回収では

2年間で約3.5トンが集まり、868人分のポリオワクチンを提供することができた。

今後、本年11月の新ごみ処理施設の稼働にあわせ、市ホームページ内に専用のサイトを立ち上げ、ごみ減量に係るさまざまな情報を定期的に発信する。

新施設における資源化物の分別・再資源化の取り組み方針としては、これまでと同様に粗大ごみなどは収集後の分別を図り、一部は資源化するなど処理費の削減に努めるとともに、新たな取り組みについても実施する予定である。

具体的には、新施設でごみの焼却により発生した灰の一部を売却することを計画し、準備を進めている。これは四国初の取り組みであり、本施設の処理工程の中で、再資源化できる灰を捕集したのち、民間事業者に売却し、同事業者が灰の中から亜鉛や銅などの金属類を回収する

もので、灰を処理した場合と売却した時との差額を試算すると、年間100万円以上の効果が見込めると考えている。

【その他の質問】

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の今後の取り組みと課題は。

答 子育て世代への支援など、これまでの取り組みをブラッシュアップし、具体的な施策目標を掲げ進めている。

既存の施策が単なる個々の対応策として終わらないよう、長期的視点で取り組んでいく。

問 企業誘致を積極的に進める考えは。

答 今後、小規模・分散型の企業立地促進、ICTやクリエイティブ産業など、本市の特性に合った企業誘致の方向性を検討し、庁内連携を図り企業誘致計画の策定に取り組む。

問 市制20周年記念事業の成果と今後の展開は。

答 各事業で本市のよさと魅力を効果的に発信できたと考えている。農林業まつりなどの一部の事業については、市制20周年成果事業として今後も継続していく。

問 ランドセルの自由化と通学リュックの無償支給は。

答 通学時の負担軽減に努め、ランドセル等の選択肢についても柔軟に対応する。通学用リュックの無償支給は考えていないが、先進事例を注視し、調査研究していく。

問 ラーケーションという新しい学びをどのように評価し進めていくのか。

答 家族の絆を深めるよい機会につながる、意義あるものと認識している。今後、ラーケーション導入に向けた課題等を精査した上で、前向きに検討する。

※ラーケーション：子どもたちが保護者と一緒に校外で体験学習や探究活動を行うことを目的とした、新しい学び方・休み方の制度



細井 英輔
ほそい えいすけ
薫風会

問 鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合
について準備委員会での協議状況は

答 各分野ごとに協議を進めており、今後具
体内容を詰め、引き続きしっかり取り組んでい
く

46. 3%とほぼ同数であった。
が46.9%、スクールバスが
希望する通学手段は、自転車
1%であった。

制服・体操服は、「新しいデ
ザインに変更した方がよい」が
46.6%、体操服で46.
1%であった。

希望する通学手段は、自転車
1%であった。



谷田 憲二
たに けんじ
真誠会

問

子育て・教育の満足度向上への新たな挑戦は

答

「子どもはぐくみ医療助成事業の完全無償化」と「学校給食費の完全無償化」に挑戦したい

問

市長のマニフェストに掲げられている、子育て・教育の満足度向上について、2期目となり2年目を過ぎる前にして、すでに着手され早くも完了されているように思う。

この先、どのような施策で子育て・教育の満足度を向上させていくのか。また、市長マニフェストをどのようにアップデートし、新たな施策に挑戦していくのか。

答

令和元年10月に吉野川市長に初当選させていただいてから6年が経過しようとしており、2期目も折り返しに差し掛かろうとしている。

この間、コロナ禍や財政危機の影響を受け、市長としての決断が難しい局面もあったが「6つの基本政策」を柱とした公約を掲げ、子育て・教育や暮らし・福祉の満足度向上などに鋭意取り組んできた。

その中でも、子育て・教育の

満足度向上については、保育料無償化や保育所・認定こども園の給食費無償化など、マニフェストに掲げていた全ての事業が、一定の形となって進めることができた。

これまでの成果や社会情勢なども踏まえ、残り2年あまりの任期において、子育て・教育の満足度向上への新たな挑戦として、子どもはぐくみ医療助成事業の完全無償化と学校給食費の完全無償化に挑戦したいと考えている。

しかし、本市の財政状況は当面の財政危機は回避したものの、依然として歳出の抑制が求められる状況であり、今後も身の丈にあった財政運営を徹底していく必要がある。

人口減少や少子高齢化が急速に進行する中においても、本市ならではの特色ある施策を展開しながら、地域社会の持続可能性を高め、行政サービスの質を

維持しつつ、これからの10年を見据えた行財政運営を行うことが重要となる。

引き続き、吉野川市行財政改革プラン2024の取り組みを着実に推進し、新たな財源確保にも積極的に取り組むなど行財政基盤の強化を進め、この新たな2つの無償化事業が持続可能な事業として実現できるよう取り組んでいく。

【その他の質問】

問

消防団の必要性と重要性が再認識される中、その活動を支える基盤として、消防団詰所の更新は。

答

今後、施設の点検等を行い、地域防災力の要となる消防団の活動がより円滑で安全に行えるよう、国や県の補助金を活用しながら、計画的に整備を進めたい。

問

本市の教育・保育、また、子育て支援施策などの諮

問的機関として、吉野川市子ども・子育て会議があるが、どのような分野の委員で構成されているのか。

答

現在の委員は14名で、認定こども園、放課後児童クラブ、児童館やPTAの代表者、子育て中の保護者などで構成されている。

問

Mt・高越ヒルクライムレースの進捗状況は。

答

募集要項、チラシ、ポスターの作成に取り組んでいる。安全対策、救護、警備についても万全の体制を整える。

問

過疎地域の活性化についての今後の見通しは。

答

過疎計画を、新たに令和12年度までの5カ年計画とし、本年度中に策定する。

現在、県営事業として山川町川田地区で進行中の大規模圃場整備事業を新たに加えるなど、令和12年度までに想定される各種事業を盛り込む予定である。

問

日本遺産「藍のふるさと阿波」の観光資源としての今後の活用方策は

答

五九郎まつりと鴨島大菊人形で特設ブースを設け魅力を発信し、貴重な観光資源として最大限に活用したい



藤原 一正
ふじ かわら かず まさ
芳藍麻植会

問

日本遺産は、文化・伝統を語るストーリーを文化

庁が認定する制度で、これまでに104の地域が認定を受け、吉野川流域9市町が申請した「藍のふるさと阿波」日本中を染め上げた至高の青を訪ねて「〜」が、令和元年5月「日本遺産」に認定を受けている。

令和3年度から更新制度が導入され、認定から6年が経過した地域で、総括評価および継続審査を実施し、文化庁は、昨年度1件の認定取り消しを行った。

理由は日本遺産を活用した地域活性化策が不十分、観光振興に繋がっていないとされている。藍のふるさと阿波も、認定から6年が経過し、本年度審査を受けたが、日本遺産の文化資源としてのこれまでの取り組みと、文化庁日本遺産審査評価委員会による現地調査での指摘・改善事項は。

答

ハード事業では、西麻植八幡神社に誘導看板や説明

明看板の設置、山川地域総合センターや日本フネン市民プラザに説明パネルを設置した。

ソフト事業では、市広報やホームページでの情報発信、9市町連携パネル展「藍のふるさとを歩く」を鴨島駅前中心市街地と西麻植地区で実施し、藍で栄えた歴史について啓発を行った。

リバーサイドハーフマラソンでは、コースの沿線に構成文化財「川島の浜の地蔵」が所在することから、「日本遺産藍のふるさと阿波を走る」と冠名をつけ、日本遺産の認知度向上を図るとともに、イベントの魅力向上にも努めた。

動画制作、ストーリーブック、小学生用副読本、観光パンフレットの作成、ガイドやサポーター養成講座の実施、インバウンド誘客を視野に入れた川島高

校生による英語での観光ガイドや英語版観光パンフレットの作成も行った。

群馬、山形、東京の日本遺産と連携した4地域連携商品の開発を行い、ツーリズムEXPOジャパンや日本遺産フェスティバルでインバウンドや国内向け文化観光の魅力発信を行った。

本年5月の総括評価継続審査では、ガイドができる人材の育成、拠点施設整備や観光客を受け入れる観光ルート等の環境整備が不十分、日本遺産の魅力を広く伝える取り組みや日本遺産を活用した地域活性化の取り組みが不足、各自治体内では観光部局、協議会内では自治体会員と民間会員間での連携不足等が指摘事項として挙げられた。

この指摘を真摯に受け止め、9市町で連携を図り改善に努め、観光部局と連携強化し、文化観光や交流促進等に、日本遺産を最大限活用した地方創生に

問

つなげる取り組みを推進したい。日本遺産の観光資源としての今後の活用方策は。

答

本市の観光ガイドマップでは、日本遺産構成文化財に日本遺産ロゴマークを標記している。また、サイクルツーリズム推進事業でのマップ作成でも、該当箇所と同じく標記する。

イベントでの活用は、藍農家出身の喜劇俳優、曾我廼家五九郎の至芸を讃える五九郎まつりと鴨島大菊人形でも特設ブースを設け魅力を発信する。

日本遺産藍のふるさと阿波を本市の貴重な観光資源として位置づけ、最大限に活用したい。



五九郎まつり
特設ブースでの日本遺産PR



あさ ひこ 阿佐 勝彦

問

病児・病後児保育広域利用助成事業の概要は

市外施設を利用した際には負担金の差額を助成する

問 本市の病児・病後児保育は、鴨島町の「ひだまり」と山川町の「さくらんぼ」で実施しており、市内の東西でバランスの取れた事業展開であったが、「ひだまり」が急きょ3月末で閉鎖となった。

人口密集地である鴨島町での閉鎖や、川島や山川から東方面に仕事に行く方が利用していたこともあり、多くの子育て世帯の利便性が低下していることが想像できる。

答 この状況に鑑み、病児・病後児保育事業広域利用助成事業を開始したが、事業概要および周知方法は、また、本市の病児病後児保育事業のピーク時と現在の年間の利用者数は。

答 本年3月末で鴨島町の施設が廃止となり、山川町の「さくらんぼ」のみとなった。

市民が市外施設を利用する際には、規定する利用者負担額の2000円を超えての負担が必要となる。

そのことから、病児・病後児保育広域利用助成事業として、その差額を助成し、負担軽減を図ることとした。

事業周知は、対象者である1歳から小学6年生までの子どもがいるこ

家庭には、こども園や小学校を通じ、チラシを配布し周知に努めている。

利用者数のピークは、令和元年度に2施設合わせ延べ670名の方が利用した。その後のコロナ禍により、令和4年度は延べ29名となったが令和6年度は延べ184名と増加した。

【その他の質問】

問 路面排水が困難な箇所での地下浸透枅による対応は。

答 設置に際して行う、ボーリング調査に多額の費用を必要とするため、十分な検討が必要である。

問 地下浸透枅が設置できない場合の対応は。

答 透水性舗装による路面水の軽減を図る等の対応策を講じる。

問 バンブーパークのイベント時の駐車場の確保は。また、ペット入園の許可は。

答 大規模イベントの開催状況や河川を管理する国土交通省の意見も伺い検討していく。

ペットの入園許可は、近隣の類似施設の状況などを考慮し検討したい。

施設の利用状況を考慮し検討したい。



おか みつ お 岡田 光男

問

統合反対の署名952名分の重みをどのよう

に受け止めているが、子どもたちの将来を見据え決断した

問 鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合反対の署名952名分の重みを、市長はどのように受け止めているのか。

大変重く真摯に受け止めるとともに、地域の今後を心配される住民の皆さまの思いを改めて強く感じた。

答 統合に関して、子どもたちの将来を見据え、より望ましい教育環境を第一に考えた上で、決断したものである。

統合してよかったと思っていただけの教育環境を、責任を持って整備していくことを約束するとともに、地域の皆さまには、新しいステージへ進む子どもたちを応援していただきたいと考えている。

今後においては、保護者や地域の皆さまとの対話を重ねながら、より望ましい教育環境の実現に向け、しっかり取り組んでいく。

【その他の質問】

問 戦後80年を迎え、市民に向けての平和の発信は。

市民の平和意識の醸成を図る新たな取り組みとして、本館1階市民ホールにてモニターなどを活用した啓発を検討している。

答 シカの捕獲数が15年前に比べて3倍にもなり、生息数は増加しているが対策は。

昨年度のシカの捕獲実績は、767頭であり、国の事業である「シカ特別対策」を有効活用し、捕獲対策を強化していく。

問 鴨島地区の公共下水道料金の値上げが議案に上程されているが、物価高騰の折、なぜなのか。

答 使用料収入だけでは、汚水処理費を賄えておらず、経営戦略を見直す過程で、審議を重ねた結果使用料改定に至った。

問 国の障害者福祉計画において、令和8年度までに基幹相談支援センターの設置が掲げられているが本市の状況は。

答 来年度の中頃までに委託先を決定し、令和8年度内にセンターの設置を完了させる計画である。

来年度の中頃までに委託先を決定し、令和8年度内にセンターの設置を完了させる計画である。



ひろし 寛 ちか ひさ 近久

問

外国人の移住について行政としての認識は

答

多文化共生社会を築いていくため、互いを尊重し、交流の機会を設ける

問 全国的に外国人の土地取得等についての問題が生じている。本市の土地や農地取得に関する規則や実績は。

答 外国人による農地取得については、農地法施行規則や農地法関係事務に係る処理基準などに基

づいている。これらの規定に基づき農業委員会では、在留期間や在留資格を確認し、農業経営が可能かどうかを判断する。加えて、国籍を問わず、農地取得

予定者やその世帯員について、農業機械の所有状況、農作業従事者数のほか、年間150日以上農業に従事できるかなどの要件についても確認している。

問 規則の緩さから土地取得やト

ラブルの懸念が指摘されている。外国人の移住や土地の取得や貸し借りについて、市としての認識は。

答 日常生活において外国人に対する苦情や懸念の声があることは承知している。水源地となる山林の買い取りなどについては、行政として注視していく必要があると認識している。

一方、我が国においては、少子化による人口減少に歯止めがかからず、私たちの住む地域においても、さまざまな影響が出てきている。

今後、ますます人口減少が進んでいく中、外国人は、労働力確保の観点のみならず、地域の維持、活性化にも大いに貢献していただけるものと考えている。

行政として、外国人の方が、より暮らしやすい環境を整えていくとともに、「多文化共生社会」を築いていくため、互いを尊重し、ともに地域を支えるパートナー（仲間）として、交流の機会を設けるなど、一層の理解を深めていく必要があるものと認識している。



としお 敏夫 とい で 戸出

問

木造住宅耐震改修工事補助金制度の現状と今後の取り組みは

答

命を守るといふ基本理念に立ち木造住宅耐震化事業を推進する

問 木造住宅耐震改修支援事業は、地震大国である日本において、国民の生命と財産を守る上で、非常に重要な取り組みであるが、事業が進んでいないのが実情である。制度の現状と今後の取り組みは。

答 木造住宅耐震改修支援事業は、本市の木造住宅所有者が行う耐震改修工事について、補助金額を

昨年9月、これまでの上限額120万円から上限額210万円に引き上げて実施している。

本年度は耐震改修支援事業の募集枠を25戸に拡大し、現在、8戸の申し込みを受けている。また、耐震診断についても、本年度は募集枠30戸が全て埋まっている状況である。これらは、市民の防災意識の高まり、特に南海トラフ地震に対する危機感が増していることの現れであると考えている。

今後の取り組みとして、補助制度の拡充という貴重な機会を活かすとともに、市民の命を守るという基本理念を堅持しながら、木造住宅耐震化事業をより一層推進していく。

【その他の質問】

問 小中学校の修学旅行費の無償化は。

答 現在は考えていないが、先進自治体の状況を注視していく。いじめ対策の現状と早期発見、早期対応、未然防止に向けた具体的な取り組みは。

答 日記・生活ノートの指導および個別面談等、全教職員で組織的な対応を行い、いじめ問題を「自分中心」と捉え、解決に向けて自らが主体的に行動できる児童生徒の育成に努めている。

問 児童虐待のリスクを抑制する取り組みは。

答 子育て世帯訪問支援事業、産後ケア事業、親子関係形成支援事業など母親に対して乳児期からの支援を強化している。

問 高齢者や障がい者に対する人権侵害への対策と今後の取り組みは。

答 人権侵害の未然防止に向けた意識啓発を行っており、今後も人権尊重の取り組みを推進する。



栗原 五男

問

鴨島東中学校の規模なら統合しなくてもよいのでは

統合は避けては通れないものと考えている

問 6月に、鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合反対の要望書が市長に手渡された。

答 今回の統合について、地域住民との意思疎通がなく、当初の説明が不十分だったのでないか。また、鴨島東中学校の規模なら統合しなくてもよいとの声もあるが、本市の見解は。

答 昨年度に開催した統合に関する説明会において、おおむねご理解をいただいたと受け止めているが、反対のご意見があることも承知している。

また、最初の説明が不十分ではないかとの指摘については、真摯に受け止めている。

統合しなくてもよいとの声について、生徒数の減少に関しては本市のみならず、県内他団体においても同様の課題を抱えている。昨年度には、鴨島東部地区小中学校のあり方検討委員会からも、「より望ましい教育環境を実現するため、早急に改善を図る必要がある」との提言があった。教育委員会としても、この度の統合は避けては通れないものと考えている。

問 今回の鴨島東中学校を活用し、人が増える施策は。

答 地域の賑わいが将来にわたり継続できるように、しっかりと取り組んでいく。

【その他の質問】

問 公共施設等総合管理計画に基づく対応は。

答 施設を利用される市民の方と情報を共有し、進めていく。

問 ふるさと納税返礼品にお米を加えては。

答 委託業者と連携し、農業者や集荷業者と協議を進めていく。

問 鴨島公民館の指定管理についての考えは。

答 指定管理制度の運用を検証する公共施設部会を設け、総合的な検証、見直し等も実施している。

問 新ごみ処理施設の進捗状況と市民への周知は。

答 予定通りの工程で進んでおり、8月から試運転を始める。

問 進捗状況は、市ホームページで情報提供している。



相原 一永

問

中学校体育館の空調設備整備事業費が計上されているが小学校にも整備するのか

交付金の期間内に全ての小中学校に整備できるよう進めていきたい

問 国は学校体育館に空調を整備する自治体へ特例交付金を新設した。本市も、本年度6月補正予算に中学校屋内運動場空調設備整備事業費947万2000円が計上されている。今回は、鴨島第一中学校と川島中学校の実施設計、山川中学校の耐力度調査を行うものだが、本市が予定している屋内運動場空調設備整備事業はどのような計画なのか。

答 現時点での計画は、鴨島第一中学校と川島中学校の体育館について、本年度に実施設計、来年度に整備工事を行う予定としている。国の交付金を活用する要件として、空調整備に併せて断熱性確保のための工事が必要とされていることから、整備にあたり屋根や窓などの遮熱対策のほか、必要な断熱改修を行うこととしている。

また、山川中学校体育館については、築50年を経過している状況に鑑み、空調整備に取りかかる前に、施設の耐力度調査を行い、経年による老朽化の状況を確認した上で、来年度以降、鴨島東中学校体育館と併せて整備に向けて取りかかりたい。

問 この特例交付金は令和15年度までだが、小学校体育館にも整備するのか。

答 時限的な交付金であることから、期間内に全ての小中学校体育館へ整備できるように、計画的に進めていきたい。

新たな交付金の創設以降、全国的にも学校体育館への空調整備事例が増えつつあることから、今後県とも連携し、最新の情報収集に努め、本市にとって最適な空調整備を図っていきたい。

【その他の質問】

問 本市の睡眠教育の成果は。

答 睡眠習慣や生活リズムが改善された児童生徒もおり、一定の成果を得たという声が届いている。改善が十分でない児童生徒もいる。

睡眠習慣の改善には、学校教育だけでなく、家庭環境や社会的背景も大きく関係するため、引き続き保護者への啓発や、学校・地域と連携し、継続した取り組みが重要である。

令和6年度政務活動費収支報告

政務活動費は、議会の審議能力を強化するために、議員の調査・研究、その他の活動に対して交付されるものです。

法の趣旨の基づき、本市では「吉野川市議会政務活動費の交付に関する条例」を制定し、会派に対し政務活動費（月2万5000円×所属議員数）を交付しています。残額が生じた場合は、市に返還することとなっています。

各会派ごとの収支報告内訳書は、市議会ホームページでも公開しています。



市議会ホームページ
二次元コード

収支報告集計表

【交付対象期間】令和6年4月～令和7年3月（単位：円）

会派名	所属議員	交付額	調査研究費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	会議費	支出合計
吉野川政友会いろは	6	1,800,000	0	334,131	64,781	162,510	983,506	0	1,544,928
薫風会	5	1,500,000	0	362,943	57,952	0	974,673	0	1,395,568
志誠新進クラブ	2	600,000	0	55,718	16,960	69,774	0	0	142,452
公政・麻植会	2	600,000	0	107,995	12,560	124,780	0	0	245,335
公明党	1	300,000	0	0	12,560	0	0	0	12,560
日本共産党	1	300,000	0	27,861	18,618	0	0	0	46,479
市民ファースト	1	300,000	0	0	12,560	0	0	0	12,560
民主クラブ	1	300,000	0	68,379	12,560	0	0	0	80,939
みのり会	1	300,000	0	27,861	12,560	0	0	0	40,421
小計		6,000,000	0	984,888	221,111	357,064	1,958,179	0	3,521,242

支出項目の説明

政務活動費を充てることができる経費の範囲は、条例別表の定める調査研究に要する経費となっています。

調査研究費	会派が研究会、研修会を開催するために必要な経費または会派に属する議員が他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために要する経費
調査旅費	会派の行う調査研究活動のために必要な先進地調査または現地調査に要する経費であって、「吉野川市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」の基準を超えないもの
資料作成費	会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派の行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
広報費	会派の調査研究活動、議会活動および市の施策について住民に報告し、広報するために要する経費
会議費	会派が地域住民の市政に関する要望、意見を吸収するために行う会議および会派の政策等を審議するために行う会議に要する経費



令和6年度会派行政視察報告 (政務活動費内訳)



期 間	令和6年5月16日～17日			旅費・研修費	志誠新進クラブ	27,448円
					日本共産党	13,726円
					みのり会	13,726円
視察先・目的	岡山県備前市	備前市役所	まちじゅうどこでも図書館について			
	岡山県玉野市	玉野市役所	玉野市カーボン・マネジメント推進委員会について			
会派(視察者)	【志誠新進クラブ】田村修司、谷田憲二 【日本共産党】岡田光男 【みのり会】菊川充憲					

期 間	令和6年7月3日～4日			旅費・研修費	吉野川政友会いろは	54,175円
視察先・目的	岡山県赤磐市	赤磐市役所	空き家対策について			
	愛媛県今治市	今治市役所	学校給食について			
会派(視察者)	【吉野川政友会いろは】福岡正、阿佐勝彦、榎原五男、近久寛、中西渉					

期 間	令和6年8月19日～20日			旅費・研修費	吉野川政友会いろは	183,237円
視察先・目的	東京都千代田区	地方議会研究会	議会から始める「自治体DX」			
	東京都千代田区	衆議院議員会館	子育て支援・耐震対策助成拡大について まちづくり活性化の支援について			
会派(視察者)	【吉野川政友会いろは】榎原五男、近久寛、中西渉					

期 間	令和6年11月11日～13日			旅費・研修費	薫風会	204,479円
					公政・麻植会	68,379円
					民主クラブ	68,379円
視察先・目的	長崎県長崎市	長崎市役所	移住支援空き家リフォーム補助金について 空き家家財財産処分費補助金について			
	長崎県大村市	大村市役所	大村市立中学校運動部活動の方針について			
	佐賀県武雄市	武雄市役所	スポーツコミッションについて			
	福岡県北九州市	北九州市役所	介護ロボット等導入実証事業について 介護人材確保マッチングサービスについて			
会派(視察者)	【薫風会】岸田益雄、河野利英、枝澤幹太 【公政・麻植会】山添純二 【民主クラブ】北川麦					

期 間	令和7年1月28日～29日		旅費・研修費	薫風会	158,464円
				公政・麻植会	39,616円
視察先・目的	東京都足立区	足立区役所	子どもの貧困対策・おいしい給食		
	東京都千代田区	衆議院第二議員会館	学校体育館の空調について／公的病院に対する特別交付税措置について／こども食堂・学校給食費無償化について／Xスポーツについて		
会派(視察者)	【薫風会】岸田益雄、河野利英、細井英輔、枝澤幹太 【公政・麻植会】山添純二				

期 間	令和7年1月28日～29日		旅費・研修費	志誠新進クラブ	28,270円
				日本共産党	14,135円
				みのり会	14,135円
視察先・目的	大阪府東大阪市	ものづくり ビジネスセンター大阪	中小企業の支援について		
	奈良県宇陀市	宇陀市役所	地域公共交通の取り組みについて		
会派(視察者)	【志誠新進クラブ】田村修司、谷田憲二 【日本共産党】岡田光男 【みのり会】菊川充憲				

期 間	令和7年2月3日～5日		旅費・研修費	吉野川政友会いろは	96,719円
視察先・目的	高知県香美市	香美市役所	香美市地域電子マネーkamikalについて		
	高知県須崎市	須崎市役所	ふるさと納税について		
会派(視察者)	【吉野川政友会いろは】阿佐勝彦、柴原五男、近久寛、中西渉				

議会のうごき(3月～5月)

21日 0回代議員会

20日 総会

12日 小松島市議会正・副議長来庁

23日 第87回四国市議会議長会定期総会

5月

11日 期総会

4日 議会広報特別委員会

4月

28日 阿北火葬場管理組合議会定例会

27日 中央広域環境施設組合議会定例会

17日 徳島中央広域連合議会定例会

5日 DX推進特別委員会

17日 議会運営委員会

阿北特別養護老人ホーム組合議会定例会



旬感 よしのがわ

夏の風物詩のひとつとして、涼しげな音色で癒やしと清涼感をもたらしてくれる風鈴があります。

風鈴の音色を聞くと、心地よい涼しさを感じるのと同時に、どこか懐かしい気持ちになります。目を閉じて、その音色を聞けば、夏の青空、夕暮れなど子どもの頃に見た夏の情景、家族と過ごした懐かしい記憶が呼び起こされます。

風鈴は、単に涼しさを感じるだけでなく、過去の記憶や感情と結びつき、特別な感慨を私たちにもたらしてくれます。

風鈴の音色を聞き、五感で涼を感じながら、子どもの頃の思い出を振り返ってみるのもよいかもしれません。



□に当てはまる言葉は何でしょう。

クイズ



□ 山 (山川町) ひらがなも可

標高1133m、平地からそびえ立つ姿から「阿波富士」と呼ばれ、「おこおつあん」の愛称で親しまれています。登山口から山頂まで標高差1000mを誇る古い修験の山となっており、登山コースは山川町と穴吹町からのコースがあります。山頂付近から吉野川流域を遠く河口付近まで見渡すことができ、今年10月26日には、高越山を活用した自転車登坂レース「Mt.高越ヒルクライム」を開催予定となっています。

● 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市の特産品を進呈します。

※議会事務局まで受け取りにお越しください。

● 応募方法

はがき、またはFAXにクイズの答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、吉野川市議会事務局までお送りください。

応募の際に議会だよりについての感想や、「チョットひと言」添えてみませんか。

● 応募先

〒776-8611 吉野川市議会事務局
TEL(0883)2212241
FAX(0883)2212242

● 締切日

令和7年9月30日(消印有効)

チョットひと言

★今は亡き大好きだった祖母と一緒に、村田旅館へお花見をしに行ったことを思い出しました。変わらない場所があるのは嬉しいです。また行きたいと思います。

(坂口やま)

(前回の解答) 「村田」

あしがき

最後まで「市議会だより」をご覧いただき、ありがとうございます。

5月の市議会議員選挙では、たくさんの方の皆さんが、たくさんの市民の皆さんと直接お話しすることができ、本当に貴重な時間となりました。子育ての悩み、ご家族の介護、空き家や農地の活用など、日々の暮らしの中で感じておられる声をたくさんお聞かせいただきました。

一つひとつのお話が、私にとって大切な学びであり、改めて「市民の声に寄り添う議員でありたい」と強く感じました。地域の声に耳を傾けながら、子育て支援、高齢者福祉、障がい者への配慮、一次産業の振興、そして持続可能なまちづくりに向け取り組んでいます。なかでも、人口減少や少子化という大きな課題に直面する今、子どもたちが笑顔で育ち、若者が希望を持って暮らせる吉野川市をどう築いていくかが、最大の課題と考えています。

これからも暮らしの現場に足を運び、皆さまの声を丁寧を受け止め、市政に反映させてまいります。それは、どんなに小さな声でも、市政を動かす大きな力になると信じているからです。

この「市議会だより」では、議会での活動や市政の動きをわかりやすくお届けし、まちの「今」と「これから」を皆さまと共有したいという思いで作っています。

これからも、市民一人ひとりが主役となる吉野川市の実現をめざして、同僚議員とともに地道に、着実に活動してまいります。

皆さまのご意見やご提案をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

中西 渉

【編集委員】

委員長	中西 渉
副委員長	近久 寛
委員	戸出 敏夫
	枝澤 幹太
	菊川 充憲
	岡田 光男